

(様式6)

CHOIJILJAV DORJDEREM 氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨




題 目 Reliability and validity of Mongolian version of Diabetes Quality of Life Brief Clinical Inventory for type II diabetes  
(II型糖尿病におけるモンゴル語版Diabetes Quality of Life Brief Clinical Inventoryの信頼性と妥当性)  
THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL 74 : 1~9, 2024  
Dorjderem Choijiljav, Enkhjargal Yanjmaa, Yuki Ideno, Shota Ogawa, Naidankhuu Batgerel, Bulgan Munkhtur, Thomas E. Burroughs, Hiromitsu Shinozaki

論文の要旨及び判定理由

2004年に開発されたThe Diabetes Quality of Life Brief Clinical Inventory (DQOL-BCI) は糖尿病患者のQOLを評価する尺度として世界中で使用されており、既に8つの言語に翻訳されている。モンゴルにおいても近年、糖尿病の有病率が増加していることから、糖尿病患者のQOLを評価し、治療やケアの充実につなげることが求められている。本研究は、モンゴル語版DQOL-BCI (MVDQOL-BCI) を作成し、その信頼性と妥当性を検証することを目的とした。MVDQOL-BCIは、患者報告アウトカム (PRO) 測定法の翻訳と文化的適応プロセスに関するグッドプラクティスの原則に従い作成された。モンゴル国内の2型糖尿病患者197人からデータを収集した。MVDQOL-BCIは強い内的整合性 ( $\alpha=0.853$ ) と再テスト法による十分な信頼性 (ICC=0.842) を示した。基準関連妥当性の検討では、MVDQOL-BCIはアジアDQOL (2014年に開発されたアジア人むけの尺度)、及び、SF-36と強い負の相関を示し、HbA1cと中等度の正の相関を示した。また、性別、教育歴、収入、糖尿病罹病期間、インスリン療法の有無において、判別的妥当性が確認された。以上より、本研究で作成されたMVDQOL-BCIの信頼性と妥当性が確認された。本研究により開発されたMVDQOL-BCIを活用することにより、モンゴル国内の2型糖尿病患者のQOLが正しく評価され、糖尿病の治療やケアの質的向上に寄与することが期待される。したがって、本研究は今後の保健学の発展に寄与するものと認められ、博士 (保健学) の学位に値するものと判定した。

(令和6年2月13日)

審査委員

主査	群馬大学大学院教授 看護学講座	大山良雄	
副査	群馬大学大学院教授 看護学講座	伊東美緒	
副査	群馬大学大学院教授 看護学講座	小澤厚志	

参考論文 なし